

携帯で不法投棄防止

ミヤテラ 導入コスト大幅に低減

石綿を防ぐ

機能付き携帯を活用、専に提出し、顧客の法令順用装置に比べて導入コストを支援する。投資額はトを大幅に低減できたと約二千万円。

アスベスト（石綿）の廃棄業務や空調・断熱工事を手掛けるミヤテラ（東京・品川）は十九日、排出場所から処理場に

共同開発した。排出場所から処理場に至る石綿の廃棄過程をアイティフォーが随時監視し、自動的に記録する。ミヤテラはこの記録書を顧客である石綿排出企業

投棄の可能性があるとシステムが判断。運転手の携帯に報告を求める電子メールを自動送信する。

連絡先を登録しておけば、排出企業と運搬管理者にも警告を発する。

石綿の積み込み・積み降ろし時には、運転手に携帯電話の内蔵カメラによる撮影を求める。画像は移動記録とともにアイ

ティフォーに自動送信機にはKDDI（au）し、記録する。携帯電話の「W31T」を使う。